

中岳



平成18年度社団法人熊本市歯科医師会 通常総会
平成18年度社団法人熊本市歯科医師会 代議員会



熊本市歯科医師会会誌

第137号

目 次

巻頭言	蔵田 幸一常務理事	1
平成18年度社団法人熊本市歯科医師会通常総会		2
平成18年度社団法人熊本市歯科医師会代議員会		5
平成18年度第2回開放型病院連絡会		8
社保説明会、薬情君ソフト説明会		10
歯っぴーかむカムひごまる体操	吉良 直子	11
Study 一正中離開に対する審美的アプローチ Part 2 一	添島 正和	14
安・近・短の山登りを楽しむ	古川 猛士	20
新入会員紹介		22
スポーツの広場		23
会務報告		24
総会資料		27
編集後記		

表紙のことば：

芳野小付近から見た金峰山

ふだん市街から見る金峰山とちがって見えます。穏やかな一の岳。

あと2週間早かったら、おいしい香りの白いみかんの花が咲き乱れていたことでしょう。カメラのフォーカスが手前のみかんの葉にあってしまい、肝心の金峰山がぼけてしまいました。バッテリーがなくなったので、この一枚。

巻 頭 言

公益法人制度改革について



蔵田 幸一 常務理事

「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し、現行の公益法人制度に見られる様々な問題に対応する為、従来の主務官庁による公益法人の設立許可制度を改め、登記のみで法人が設立できる制度を創設するとともに、そのうちの公益目的事業を行うことを主たる目的とする法人については、民間有識者による委員会の意見に基づき公益法人に認定する制度を創設する」ということで現行公益法人が見直されることになり、法律の公布が平成18年6月2日に行われました。この日より2年6ヶ月以内、つまり平成20年12月1日までにこの法律が施行されます。現在の公益法人が一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人に分かれることになります。そこで本会は公益社団法人への移行の認定を申請することになります。公益社団法人とは冒頭にも書きましたように、公益目的事業を行うことを主たる目的としている法人であり、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものと定められております。この公益社団法人の認定基準は後日総務省から出されますが、現在分かっていることで、公益目的事業比率50/100以上、遊休財産額が一定基準を越えない、役員の任期が2年等があります。公益社団法人の認定を受けるにあたり今すぐ手をつけなければならないものは何も無い、総務省から発表されてからでよいと言われておりますが、分かっていることは早目に手をつけておいた方が得策と考えて対応しております。その一つとして今年度より一般会計の収支計算書を公益法人の様式に変更し、活動費と管理費を見やすくしました。現時点での公益目的事業比率は43%ぐらいなのでもう少し活動費を増やさねばなりません。ただ現在の管理費の中にも事業活動としての意味合いのものもありますので按分して計上するよう考えております。

この問題に関しては法律の施行から移行期間が5年あります。つまり5年の間に済ませればよいのですが、次期執行部に先送りするのは心苦しいとの古賀会長の意向もありますので今期終了（平成21年3月31日）までは認定を受けられるよう努力致します。

尚、この改革には日歯、県歯、法人となっている各郡市歯、九州八市の歯科医師会も関係していることなので情報収集、交換など行っていきたいと考えております。

会計制度見直しによる一般会員の優遇化へ

—平成18年度 社団法人熊本市歯科医師会 通常総会—

3月14日午後7時30分より県歯科医師会館3階市歯会議室にて平成18年度社団法人熊本市歯科医師会通常総会が開催された。



1. 開会 稲葉逸郎常務理事
2. 議長及び副議長選出
議長 林 正之先生
副議長 小田和人先生
3. 議事録署名人選出
谷口守昭先生 松本真典先生
4. 物故会員に対する黙祷
5. 会長挨拶
古賀 明会長

会員の皆様診療の後、本日の通常総会にご出席いただき有難うございます。また来賓として県歯科医師会から小島副会長にお越しいただいております。先生には大変お忙しい中有難うございます。さて本総会は会務、会計の現況報告並びに平成19年度の事業計画（案）、会計予算（案）と、その他三つの議案、協議を提出しております。どうぞよろしくご審議をおねがいします。

本会の会務、会計の現況は順調に計画通り執行されており、全ての事業が予算内で執行出来ると考えております。次年度の予算では委員会事業が少しアップしておりますが、総額ではかなりの減額予算となっております。それは1号、2号議案に提出したところでありますが、現在本会共済制度は、会員月1000円、終身会員は会員が死亡された都度2000円（計4名まで）で運営しており、現在41名の終身会員がおられます。しかし、10年後53名、20年後131名の先生が終身会員に移行され、本制度の給付は困難で制度自体が破綻の可能性があります。この為一般会

計の均等割会費（6000円）の中から1500円を共済制度に移行させる方法を議案として提出しました。これにより現在より給付面で、より充実し長きに亘って継続可能となります。詳しくは議案のところで担当より詳しく説明があります。

その他で4月の診療報酬改定はかつてなかった開業医にはマイナス改定で全国で不満の声が噴出しています。しかしその中で日歯は素早く、積極的に厚労省と話し合いを持ち、日歯会館で直接協議できるところまで来ています。今後さらに頑張ってもらい推移を見守ってまいります。

レセプトオンライン化は歯科だけが医科、調剤から取り残された様になっているが、日歯としては医療のIT化は推進するが平成23年の全面的な義務化は困難で、対応しづらい為同意はしておらず関係省と話し合いを重ねています。

最後に日歯連盟は7月の参議院選挙に職域代表として、石井みどりさんを最適任者として推薦しました。会員の皆様におかれましては、自分たちの職業を守り、歯科を志すこれからの人達の為に最低限の義務は全うしましょう。それでは本総会よろしく御審議ください。



報告

1. 昨年診療報酬改定

開業医には－8パーセント。点数減に対して、かわら版、社保委員会等で情報提示。

2. レセプトのオンライン化

日歯 ただいま検討中。

全国平均で6割。H23年一斉にオンライン化、歯科には難しい。H19年度まではレセコンの買い入れは控えてもらいたい。

3. 参議院選挙

職域代表の石井みどり先生をみんなでバックアップしていきましょう。

本日はいろんな議案がありますので、活発な議論よろしくお願いします。



6. 来賓挨拶

県歯副会長 小島博文先生

〔要旨〕

こんばんは。県歯副会長の小島です。

平素より、県歯の事業にご協力いただきこちらより御礼申し上げます。堤会長は日歯の会議にて東京に出向いておられます。

4年にわたる県歯科医師会館の新築も衛生士学院の引渡しに2月に終わりすべての引渡しが終わりました。心配していたコストの面については当面は問題ないと思われます。しかし長期で見ると心配な面もございます。コスト削減のため、皆様に節電等お願いしていますが、効果は上がっているようです。

会館使用料についても頭を悩ませたのですが、鶴屋パレアホールと県立劇場の間ぐらいで設定いたしました。以前にくらべてかなり多くの利用をいただいています。

会館については10年20年たつと改修等が必要になってまいります。そのための積み立て等を考えています。今年の6月には県歯創立100周年をむかえます。今後とも皆様の御協力のほどよろしくお願い致します。

7. 報告

1) 会務報告 清村正弥専務理事

2) 庶務報告 稲葉逸郎常務理事

3) 会計現況報告 蔵田幸一常務理事

4) 監査報告 岡田知久監事

8. 代議員会審議経過報告

元島博信先生

9. 議事

第1号議案 共済制度の拡充の承認を求むる件(案)

第2号議案 本会会費および負担金(共済互助費)の賦課額ならびに賦課徴収方法の変更の承認を求むる件(案)

第3号議案 平成19年度熊本市歯科医師会事業計画案の承認を求むる件

Q. 以前はバーレーボール大会等あったが今後はそういう企画はないのか?

A. その流れでビアパーティー等を企画している。

それ以外は今のところ企画していない。

A. 古賀会長

支部の方に提案してみようと思います。

Q. 社保の返戻について

義歯の追補で試適をしたところ減点されて戻ってきた。これはだめなのか。

ある社保の委員の先生にきいたら、問題ないと言われたが。

A. 稲葉常務理事

算定できないと思いますが……。即答はできないので調べて後でお知らせします。

第4号議案 平成19年度熊本市歯科医師会一般会計予算案の承認を求むる件

第5号議案 平成19年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算案の承認を求むる件

第6号議案 平成19年度熊本市歯科医師共済会計予算案の承認を求むる件

第7号議案 平成19年度熊本市歯科医師会退職積立金会計予算案の承認を求むる件

第8号議案 平成19年度熊本市歯科医師会会費および負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件

第9号議案 借入金の限度額の承認を求むる件

第10号議案 役員任免の承認を求むる件



10. 協議

1) 公益法人会計基準に則った会計報告について (清村専務理事、蔵田常務理事)
新しい基準の報告様式となっている。
以前にくらべて見にくいような感じもあるが、新しい様式に則って進めていく。

2) 公益法人改革に対する対応
会長) 日歯の方ではほとんど事業をしていない。日歯の動向、九州各県の動向を見ながらH20年度までは取り掛かりたい。

Q. 他の団体も同じような状況なのか？

A. 近いうちに総務省からの具体的な話が出てくる。今年の秋ぐらい。ほかと連絡を取って見たがまだ動きがない。

3) 未入会診療所対策について
未入会1割以上になってきている。45件にアンケート。
未入会会員が増えると、いろんな面で将来マイナスがでてくることが予想される。
入会しやすいように、入金金分割等を検討中。

4) 市民向け対外広報について
広報委員会、対内向け。
対外に対してはホームページや事業等しかない。

阿蘇郡市、年2回対外向けの広報誌作製。
熊本市でも同様なことをしようと考えている。
配布に関してはお金のかからない方法で考えている。
行政と一緒に取り組んで、無料で配布してもらおうという確約は取れている。
具体的にどういう紙面にするか。
テーマを絞っている状態。雛形作成中。
先週代議員会で提案があった。
講演会などを企画したらどうか？
事業等で行っているが、紙だけにこだわらず

考えて行きたい。

5) ヤマト運輸F-ネコ利用について

基本は今ある支部連絡網が基本。日曜祭日、年末、年始等に利用する等を考えたらどうだろう。

Q. 小島支部 尾上先生

料金は1枚についての料金か？

A. A4 1枚についての料金です。

Q. 今まで支部長からきていたが、これをつかえば直接全員にいきわたるということか？

A. そのとおり

会長) できれば1年限定でもいいからためさせてほしい。昨年年末に至急のFAXを送るのに苦労した。

6) その他

報告1.

熊本県の公益法人立入調査の結果報告と改善指摘事項

3年に1回の検査。

3つ指摘されたが、定款に則ってやっていけば問題ない。

報告2. 受賞者紹介

①中根俊吾先生 日本学校歯科医会会長表彰

②寺脇 博先生 熊本県医事・薬事・健康づくり功労者表彰

報告3. 本会事務局職員 退職者と新任者の挨拶と紹介

吉田美和さん退職、新任に志方言さん。

妊婦歯科検診 本会会員であればどこでも受けられる体制にもって行きたい。

本会の定款第20条に規定される終身会員について。総会で賛同をえられればと思います。

11. 閉会 藤波好文副会長



(広報 鯨川正和)

4月より導入の新システムを協議

—平成18年度 社団法人熊本市歯科医師会 代議員会—

3月7日(水)午後7時30分より県歯会館3F市歯会議室にて平成18年度社団法人熊本市歯科医師会代議員会が開催されました。

1. 点呼 稲葉逸郎常務理事
2. 開会 元島博信議長
3. 議事録署名人選出 上原凡由先生
(東部2支部)
堀田浩史先生
(東部3支部)

4. 物故会員に対する黙祷
5. 会長挨拶 古賀 明会長

代議員の先生方ご出席ありがとうございます。本日は平成18年度通常代議員会でございます。昨年8月から本年1月までの会務、会計の現況報告並びに平成19年度事業計画(案)、各種会計予算(案)と三題の議案を提出致しております。

昨年の8月以降本会の会務、会計は計画通り順調に執行されております。どうぞよろしくご審議お願いします。

さて、昨年4月に診療報酬改定が行われ、全体で3.16%のマイナス改定だが、我々開業医には6から8%のマイナス改定との実感があります。その上交付文書の義務化により今まで以上の煩雑さを来しております。県歯社保委員会と密に連携を取り、4月に本会社保委員会により改定説明会を行い、少しでも会員の皆様の役に立つ様に資料の作成、詳しい説明を行ったつもりです。また日歯では4月13日に今回改定の5箇所の問題点を指摘し、声明文を出しており、また、積極的に話し合いを行い、厚労省と日歯会館で協議が出来る様になっております。今後も大久保会長、堤副会長には頑張って頂きたいと思います。

レセプトのオンライン化は平成23年から義務化となっておりますが、現状では約6割のレセ



コン導入で、全国の歯科医院一斉のオンライン化はかなり困難で、日歯としては医療のIT化は推進するが、全面的な義務化には同意しておらず、順次定着されていく環境整備を図っていくこととしています。

次に、日歯連盟は7月の参議院選挙に職域代表として、石井みどりさんを推薦し、日歯も全面的に協力し上位当選を目指し手を取り合っていく。本会としても歯科医療の衰退を防ぎ、将来も魅力ある職業として継続できるよう一致協力し、支援する所です。

本会は昨年6月新会館に入居し、所有の部屋で講演会、研究会、協議会などを開催することができ、年度計画が組み易くなっております。また9月より執行部全員パソコンを導入し、メールリストで一同の諸問題を共有し、色々な意見、考えを知ることができて私には大変勉強になっております。また、これにより事務局からのファックス、電話が相当減り事務局も助かっていると思います。

2月に3年毎の法人監査があり、6項目の改善指摘がなされております。会計処理の不備、役員改選時の手続き不備、会議録の記載方法などが指摘されました。これらは全て事務手続き



等で処理可能ですので早急に対処します。

熊本市との連携で、妊婦健診はこれまで約6割の健診率ですが、これをぜひ8割まで上げていきたい、ご協力をお願いします。就学時までの医療費助成、公益法人の見直しについては協議において担当から詳しく説明があります。

衛生士専門学院増築工事は2月20日に引き渡しが行われ、4月より3年制に移行します。

それでは代議員の皆様よろしくご審議ください。

6. 報告

- | | |
|-----------|----------|
| 1) 会務報告 | 清村正弥専務理事 |
| 2) 庶務報告 | 稲葉逸郎常務理事 |
| 3) 会計現況報告 | 蔵田幸一常務理事 |
| 4) 監査報告 | 柿原 訓監事 |

7. 議事

- 第1号議案 共済制度の拡充の承認を求むる件(案)
- 第2号議案 本会会費及び負担金(共済互助費)の賦課額並びに賦課徴収方法の変更の承認を求むる件(案)
- 第3号議案 平成19年度熊本市歯科医師会事業計画案の承認を求むる件
- 第4号議案 平成19年度熊本市歯科医師会一般会計予算案の承認を求むる件
- 第5号議案 平成19年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算案の承認を求むる件
- 第6号議案 平成19年度熊本市歯科医師会共済会計予算案の承認を求むる件

第7号議案 平成19年度熊本市歯科医師会退職積立金会計予算案の承認を求むる件

第8号議案 平成19年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件

第9号議案 借入金の限度額の承認を求むる件(案)

第10号議案 理事の承認を求むる件

第1号及び第2号議案については昨年、共済制度見直し臨時委員会(小田和人委員長)から出された答申をうけて現在の会員の負担額を変更せずに制度の拡充を図っている。

第10号議案は会長1名と理事12名、それに監事2名の合計15名で発足した本会役員であるが、昨年6月以降、理事数11名での会務執行となっていた。会務量増加に伴い、理事1名の追加が必要となり、社会保険担当理事として渡辺 洋先生が承認された。

以上10議案はすべて可決承認されました。

8. 協議

1. 公益法人会計基準に則った会計報告について

(執行部) 今回の会計報告から上記基準に則った報告様式となっている。

2. 公益法人改革に対する対応

(執行部) 歯科医師会設立の理念からしても税法上の理由からも、本会は新基準での公益法人



としてぜひとも認められなければならない。具体的には年度ごとの事業活動支出が公益に関する部分で50%以上であること、管理費支出が50%以内にとどまること、基本財産は単年度の事業支出程度におさえること、内部留保率の制約などをクリアしていかなければならない。

（会長）日歯、県歯との情報交換を通じて適切に対処していきたい。

3. 未入会診療所対策について

（執行部）熊本市の未入会診療所は全診療所の1割を越えている。先般45件の未入会診療所に対しアンケートを実施し12件の回答を得た。会費が高い、メリットがない、会の仕事で休むことになる等の意見があったが、会そのものを否定する方はいなかった。今後入会金の分割等の検討や開業情報を得た際の交渉などを県歯と連携して行っていく。

（西部支部）新町アイ歯科は入会するのか？

（執行部）本院（帯山）の入会が前提となる。

（中央支部）未入会の中で入会希望は何件ほどあるのか？

（執行部）現在一件も把握していない。

4. 市民向け対外広報について

（執行部）公益法人改革とも関連して市民向けの広報に取り組んでいく必要がある。市民向けの広報パンフレット等の製作を考えている。配布について熊本市との協議は進んでいる。

（小島支部）それは会員にも配布されるのか？

（執行部）各会員の待合室にももちろんおかせていただく。

（北部2支部）医師会のように新聞等メディア



を使って講師等を招き、無料で一般向けの講演会のようなものを行う方がいいのではないかな。

（執行部）現在も熊本市との連携というかたちではあるが健康くまもと21や健康講座などを行っている。市民の啓発のために本会独自の取り組みの参考とさせていただく。

（北部2支部）この会館をもっと利用して、ここが歯科医師会館だとわかるような工夫が必要ではないかな。

（執行部）県歯代議員会で提起したい。

5. ヤマト運輸F-ネコ利用について

（執行部）NTTのFネット（Faxの同時送付サービス）よりもコストが安いことと機能面でも便利なことで、年末年始などの緊急用連絡網として最適と考えている。

6. その他

* 中根俊吾先生が日本学校歯科医会会長表彰を、寺脇 博先生が熊本県医事・薬事・健康づくり功労者表彰をそれぞれ受賞されました。

* 次年度新たに6名の先生方が終身会員となられる。

* 3月で退職される事務局の吉田美和さんから挨拶があった。新任職員として志方言さんが決定している。

* （社保）4月から実施される熊本市の5才、6才児の医療費助成は1ヶ月の患者1部負担金の上限が500円までと決定している。熊本市から各医療機関へ文書が届きます。留意ください。

9. 閉会 合澤康生副会長

（広報 前川研二）



医療現場における口腔ケアの重要性を再認識

—平成18年度 第2回開放型病院連絡会—

平成18年度第2回開放型病院連絡会が、2007年2月14日(木)19時より国立病院機構熊本医療センターの研修センターにて開催された。まず宮崎久義院長より、登録医の先生方へのお礼、病院の取り組みとして電子カルテと内視鏡下脊椎手術の導入、大型救急車と最新式MRIの紹介、病院建て替えの状況報告について話された。続いて開放型病院運営協議会委員長の熊本市医師会会長福田稔先生の挨拶があった。現代の医療提供には、医療の機能分化と医療連携が不可欠であり、熊本医療センターの医療連携の取り組みを評価された。続いて熊本市歯科医師会、古賀明会長より、病院連携において歯科医師会としてはすぐ動けるように準備ができており、病院内における口腔ケアの重要性を強調し協力への積極性を示された。全体会議に移り熊本市医師会理事の清田武俊先生と副院長の池井聰先生の司会で行われた。

症例提示では形成外科医局長、大島先生より『巨大色素性母斑の手術療法』として、大きな色素性母斑の手術例を提示され、患者の精神面からも幼少期に治療を始める方が良いと話された。また整形外科医局長、橋本先生からは「当科における内視鏡下脊椎手術（後方法）について」で、椎間板ヘルニアなどに行っている、内視鏡下脊椎手術をビデオを使って説明され、疼痛が少なく術後の回復も早いと述べられた。次に総合討論から特別講演へ移った。厚生労働省近畿厚生局長の松本義幸先生より「これからの

医療提供体制について」講演があった。その内容は、医療の現状と課題、医療制度改革法の概要、医師確保対策について、療養病床の再編成について、有床診療所についてと、5つのテーマにわけ詳しく講演された。講演終了後登録医の先生方との討議が行われた。

歯科からは熊本市歯科医師会、清村正弥専務理事より厚生省へ意見提示があった。

①口腔機能の健全性がもたらす総医療費削減効果について

特に、高齢者の口腔機能が健全に保たれる事で入院医療費を含めた総医療費が低下する。この事も含め歯科の重要性について再度認識して頂きたい。

②一般医療における口腔ケアの重要性について

熊本医療センターでは、歯科以外の一般医科診療科の入院患者にも、口腔ケアは日常的になされており、上気道感染や肺炎発症を抑制する事を認識されている。一般社会でも介護予防に口腔機能向上プログラムが取り入れられ、口腔ケアの重要性の認識が広がっている。自主的取り組みのみならず地域医療の中で医科側が、口腔ケアの重要性を認識できるよう厚生省の働きかけを期待したい。

次回からの連絡会において、さらに多くの歯科の先生方の御出席を願い、歯科の現場からの御意見、御発言を頂けたら幸いに思います。



(医療管理 有働秀一)

＜社保説明会、薬情君ソフト説明会＞

5月19日（土）午後3時より、歯科医師会館4階大会議室において、社保説明会と薬情君ソフト説明会が行われました。当初は、薬情君ソフト説明会のみ予定でしたが、今年は、県、厚生省の共同指導が行われる年であり、また、本年度から指導医療官が10数年ぶりに交代した、ということもあって、急遽社保説明会もあわせて執り行われることとなりました。

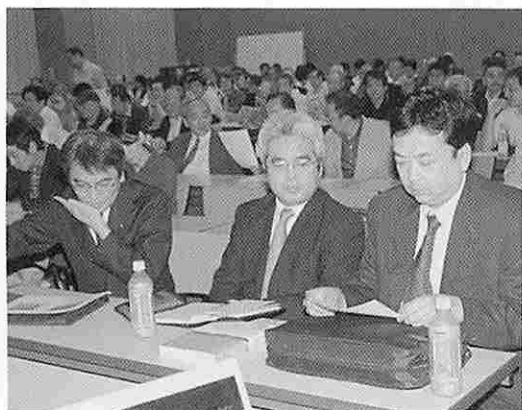
当日は、古賀会長の挨拶の後、県歯会の中島敬介常務理事、勇励社保担当理事、前田章二社保委員長より、それぞれ「今後の個別指導対策について」、「県、厚労省の共同指導について」、「最近のレセプト不適切事例」と題してお話がありました。異なる視点から、三者三様の内容でしたが、共通するポイントは、「保険診療のルールに則って、正々堂々と請求をしましょう」と言う事でした。保険診療を行う以上避けては通れない内容とあってか、200名を越える参加



者は、最後まで熱心に耳を傾けていました。

社保説明会終了後、薬情君ソフト説明会が行われました。まずはじめに、市歯社保委員会より薬剤情報提供料の算定基準、算定方法について解説がありました。大事な事は、「患者さんに薬を処方したら、必要事項を記入した文書を必ず渡して、毎月漏れなくまたは処方内容が変わるたびに薬剤情報提供料を確実に算定しましょう。」と言う事でした。このあと、学術委員会より薬情君ソフトのインストールの仕方および使い方について、実際にパソコンの画面を使いながら詳しく説明がありました。「非常に簡単で、またとても使いやすいソフトですが、パソコンの扱いに不慣れな方はやや戸惑うことがあるかもしれないので、そんなときは事務局を通してお尋ねください。」との事でした。

最後に、合沢副会長の閉会の言葉でこの説明会は有意義に幕を閉じました。（社保 井口秦治）



歯っぴーかむカム ひごまる 体操

～歯科医師会との協働で、口と舌の体操ソングを作曲～

熊本市中央保健福祉センターでは、介護予防活動の推進を図る市民ボランティアの育成と高齢者の健康づくりを地域住民とともに地域で推進しています。(高齢者の生活と健康を一緒に考える会)

その中で、口腔機能の低下予防について熊本市歯科医師会の協力を得て、研修会を行ったところ、住民との協力で「歯っぴーかむカムひごまる体操」(口と舌の体操ソング)を作成しましたので、住民と歯科医師会、地域包括支援センター及び行政の協働による活動として報告します。

★介護予防セミナーの一環として 口腔機能低下防止の講演会を開催

この研修会は、①高齢者が自らの健康管理能力の向上、②介護予防・認知症予防の実現、③高齢者支援の地域のボランティア育成、④地域高齢者支援ネットワークの構築などを目標とし、民生委員、社協、自治会長、食生活改善推進員、8020推進員等市民ボランティアを対象として、開催されたもので、地域包括支援センターと中央保健福祉センターが事務局となっています。口腔機能の低下予防では、「お口の健康は長寿の秘訣！ 健康はお口からー」のテーマで、清村正弥先生に講演をお願いしました。

★自分たちでできる口の体操を！

先生のご講演によって、住民の口腔機能に関する意識が高揚し、口(口唇)と舌の体操を歌にして欲しいという声が上がリ、平成19年1月に歌が出来上がりました。

「歯っぴーかむカムひごまる体操」のネーミングは、本市の歯科保健基本計画「歯っぴーかむカムくまもとプラン」と熊本城の築城400年祭のマスコット「ひごまる」からとったものです。

♥市民が積極的に活用しています♪

現在、中央包括支援センターや在宅介護センター、地域老人会、高齢者サロンなどで、積極的に活用されています。介護保険では口腔機能の評価について、歯科医師の役割が不明確ですが、このような活動で、住民や行政と歯科医師会との連携が活発化すれば、介護予防についても広く地域で歯科医師が貢献できると思います。次年度は事務局に社会福祉協議会も入ってもらい、広域的な活動として考えていること、歯科医師会と行政の連携によって組織的な活動に発展していることを報告させていただきます。



♪ 唇閉じて手は腰に、お口の体操始めましょう。



ひご丸お口を引き上げて 左右を動かし ぐるりんこ。



▶はじめに十分息をすい
▶くちびるを横にひき
▶ほおをあげる。



▶くちびるを
左に持上る



▶くちびるを右
に持上る



▶くちびるを閉じたまま
ぐるっとまわす。

3つ数えて すまし顔。

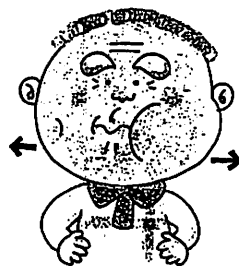
顎下線
への刺激

▲親指をあごの
骨の内側のや
わらかい部分
にあて、耳の
したからあご
のしたをおす



ほっぺを大きく 膨らませ 左右に動かしぐるりんこ。

▶口をしっかりとじて
▶アップアップではお
をふくらませる。

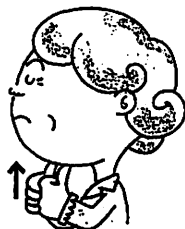


空気を口の中で
ぐるっとまわす。

▶左右に口を動かす。

3つ数えて すまし顔。

舌下線
への刺激



▲両手の親指をそろえ、
あごのましたから舌を
つきあげるように、ゆっ
くりグーッと押す。

次に唇とがらせて、あごを梅干1、2、3。
唇左右に1、2、3。

▶したあごにしわを寄
せる。

▶くちびるをとじたまま
左右に動かして、リラッ
クス（クールダウン）

♪ 食事をおいしく摂るために 舌の体操始めましょう。



ひご丸舌を前に出し 引いて伸ばして ぐるりんこ。



▶舌をおもいっきり出し
たりひっこめたりする。



3つ数えて すまし顔。左右上下に動かして

顎下線
への刺激



▶舌を出して、鼻のあ
たまやあごをなめる
ような感じで、うえ
としたに動かす。

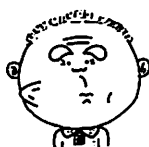


▶舌をできるだけ前に出して左
右に動かす。
▶口のまわりをなめるように舌
を左右にかわるがわるまわす。

唇持ち上げ ぐるりんこ。 おサルのお顔で すまし顔。



▶舌でうわくちび
るを押す。



▶舌で左右のほおを押す。
▶舌を左右かわるがわるにまわす。



▶舌でしたくちび
るを押す。



舌下線
への刺激

▼人さし指から小指まで
の4本の指をほおにあ
て、うえの奥歯のあた
りをうしろから前へむ
かってまわす。

次は声を出しましょう。

パパ タタ カカ ララ パタ カラ パ

パパ タタ カカ ララ パタ カラ パ

(中央保健福祉センター 吉良直子)

正中離開に対する審美的アプローチ Part 2

熊本市開業 添島 正和

正中離開（空隙）の問題点

1. 歯周組織の状態

コンタクトがない歯にとって、咬合や側方力は為害性が生じる可能性がある。歯間空隙が大きい場合、その部分の歯槽骨は水平的、頬舌的に吸収していることが多い。また、上唇小帯高位付着や過剰埋伏歯によって正中離開が生じることがある。

2. 発音機能障害

前歯空隙が大きいと発音時に息漏れが生じたり、唾液が飛ぶなどの不都合を訴える

3. 審美障害とそれによる心理障害

前歯空隙歯列の最も大きい問題点は審美不良とそれに伴う心理的な負担である。

前歯部不正咬合の発現頻度

上顎前歯部叢生	7.56%
下顎前歯部叢生	6.21%
1、2 歯反対対咬	4.25%
上顎犬歯低位唇側転位（八重歯）	3.57%
上顎前歯部空隙	3.82%
下顎前歯部空隙	3.06%
* 正中離開	6.85%

* 歯科矯正臨床シリーズ“叢生”より改変引用

正中離開の発現頻度

前歯部不正咬合における正中離開の発現頻度は6.85%である。

空隙歯列は利用可能な歯列弓の大きさ（ある部分の歯槽基底の長さ）が、利用可能な歯列弓の長さ（そこに排列されるべき歯の歯冠幅径の調和）より大きい場合にアーチディスクレパンシーとして出現する。

それぞれ条件が異なる 3 症例の正中離開の診査と問題点

症例 1) 18才 男性、初診日 2005年 3 月15日

症例の概要：正中離開の審美的改善を希望。スタディモデルの分析から、アーチフォームに問題はなく、診断用 wax up を行った結果、正中離開の量 1 mm から充分審美的性の改善を行えると判断し、

1 | 1 のポーセレンラミネートベニアで修復することにした。

勿論、コンポジットレジンでも治療可能であるが将来的に変色やレジンの耐久性の問題からポーセレンラミネートベニアを選択した。

症例 2) 22才 女性、初診日 2003年11月27日

症例の概要：上顎前歯部の歯並びが気になるとの主訴で来院。スタディモデルの分析から、1 | 1 の翼状捻転が強く、特に 1 | は歯軸が遠心に傾斜して 2 | と重なっていた。咬合面観から歯列を観察すると、理想的なアーチフォームから 1 | 1 のトゥースポジションが悪く、約 2 mm 前突しているために、修復処置のみでは審美的改善は困難であると判断した。

よって、矯正でトゥースポジションをある程度改善した後、ポーセレンラミネートベニアで修復することにした。

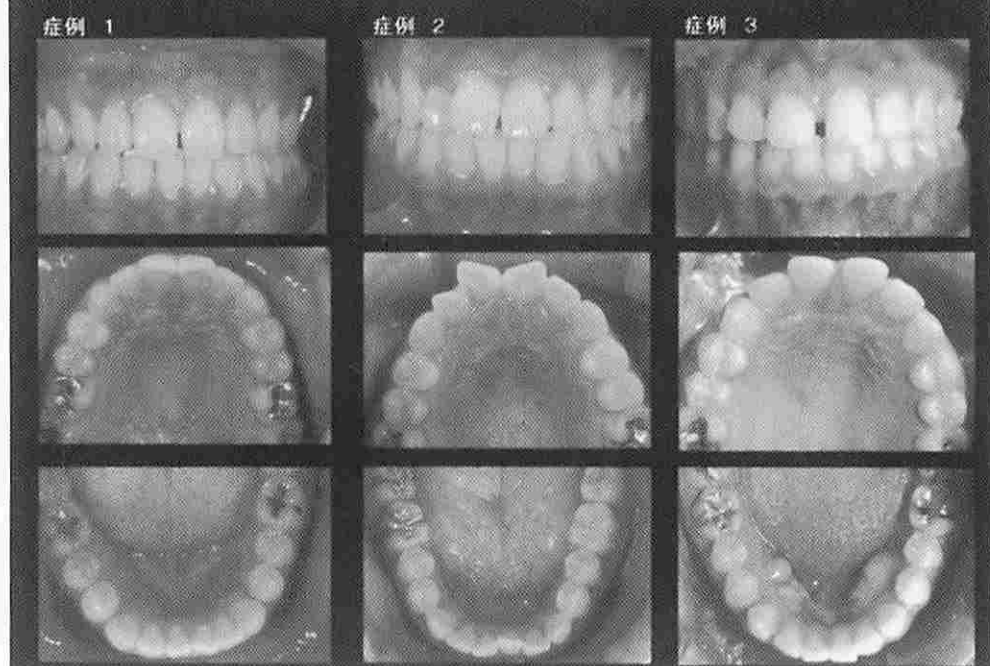
症例 3) 21才 女性、初診日 2001年 7 月19日

症例の概要：正中離開の審美的改善希望。スタディモデルの分析から 1 | 1 のトゥースポジションが悪く、理想的なアーチフォームを乱している。

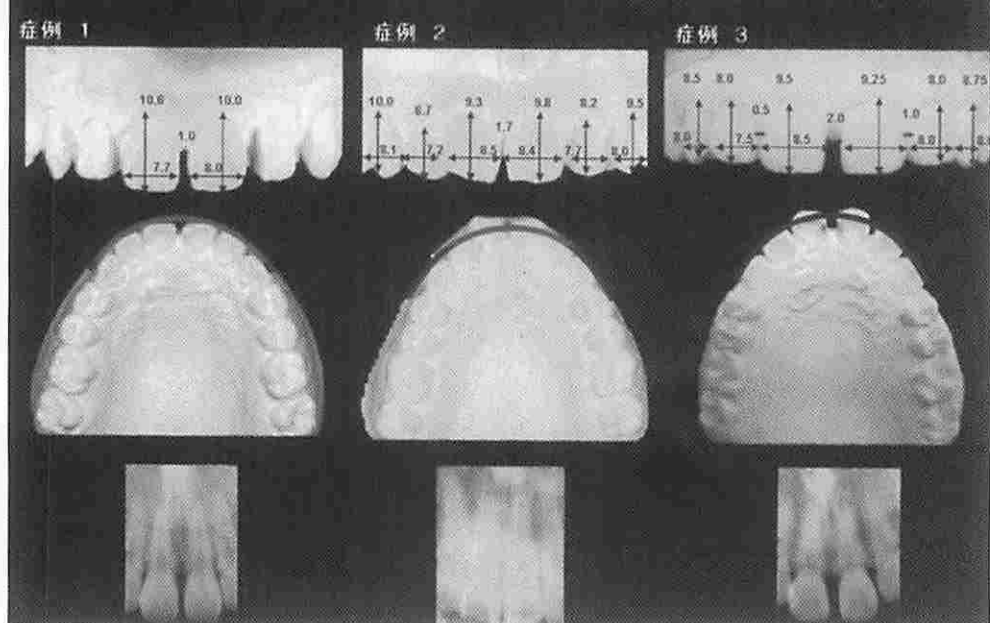
1 | 1 間に 2 mm のスペースと 2 1 | 1 2 間にも軽度のスペースが存在していた。

Set up モデルで診断用 wax up を行った結果、矯正とごく僅かな咬合調整によってスペースクローズが可能と診断した。

初診時の口腔内写真



初診時のデンタルX線の評価と スタディーモデルの分析



個々の症例の問題点と診査・診断

	症例 1	症例 2	症例 3
空隙の量	1.0 mm	1.7 mm	2.0 mm
アーチディスクレパンシー	正常	上顎前突	上顎前突
歯の位置（翼状捻転の程度）	ごく僅か	強い	ごく僅か
歯の形態	テーパー	スクエアテーパー	スクエアテーパー
歯軸	正常	遠心に傾斜	1) やや遠心に傾斜
歯冠長と幅径のバランス	アンバランス	正常	正常
垂直被蓋・水平被蓋	2.0mm - 2.5mm	2.0mm - 5.0mm	2.0mm - 4.0mm
バイオタイプ	Thin scallop	Thin scallop	Thin scallop
歯周組織の健康度・色調	良好 - 暗紅色	良好 - ピンク	良好 - 薄いピンク
下顎の偏位	偏位なし	左にごく僅か偏位	偏位なし
下顎前歯部のアーチフォーム	正常	軽度の叢生	1) 軽度の捻転

ラミネート
 矯正 + ラミネート
 矯正 + 咬合調整

治療プロセス

症例 1 ラミネート

症例 2 矯正 + ラミネート

症例 3 矯正 + 咬合調整

治療終了時の口腔内写真とX線写真

症例 1



2005.4.13

症例 2



2004.9.27

症例 3



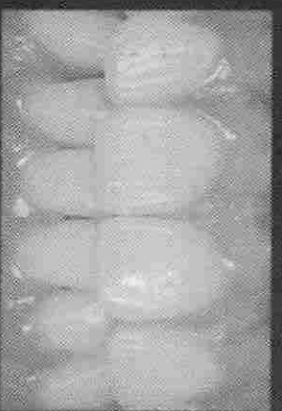
2001.10.29



症例3の菌間乳頭の経年的変化



2001.10.29



2007.1.4

明らかに、術直後と比較して、1-1の菌肉形態が変化しているために、菌の形態も変化しているように見える。
現在術後5年経過しているが、後もとりと正中線のずれも認められず、咬合は非常に安定している。ごくわずかな咬合調整のみで、修復処置を行うことなく天然歯による最高の審美性が獲得できた。

おわりに

患者さんの審美に対する要求度は時代と共に増々高くなってきており、我々歯科医師もその流れに即応できるテクニカルスキルを身につけておく必要がある。

本稿では正中離開に対する診査・診断の重要性と、それぞれ異なるアプローチについて述べたが、誌面の都合上細部まで伝えきれない部分が多々あり、わかりにくい構成になった恐れがある。しかしながら審美歯科の目的は、ただ単に修復治療を行うことではなく、天然歯が有するナチュラルエスティックを最大限に引き出すことであると、筆者は常々考えている。それが結果的にMIになり、ひいては患者さんの利益につながるのではなかろうか。そのうえ、症例1は1ヶ月の治療期間、症例2・3はそれぞれ動的治療期間を含め8ヶ月と2ヶ月という短期間で治療が終了したことで筆者が目指すSimple Speedy Safety な処置が行えたと自負している。

尚、今回の投稿論文は2006年7月23日に札幌で開催された第1回S J C D合同例会で発表しアワードを受賞した症例である。

（この論文は全国的スタディーグループである「SJCDインターナショナル」の2006年アワードを受賞したものを投稿用に編集しなおしたものです。）

=安・近・短の山登りを楽しむ=

ゴールデンウィークの始まり4月28日、快晴。何にも用事がないので、ニノ岳、三ノ岳へ登ってきました。昼前には帰ってくるね、と山ノ神さんに言い置いて、野出車庫へひととび。車庫前バス停の登山者用駐車場に入れたところ、ちょうどPTAの廃品回収が行われており、5,6人子どもたちが出ておりました。こんにちわーと気持ちの良いあいさつを残していきました。



ニノ岳、三ノを望む



車を降り、準備運動。ニノ岳登山口の標識と案内板でルートを確認してから歩き出す。しばらく続く集落を抜けると、いきなり急斜面となる。気候もよく、すぐに汗が流れ出す。『ホット一息えびね坂』を過ぎ、林道に出る。そこを横切って道に入ると、またもや急坂。まあでもそんな坂道を足元見つめて登っていくと、いきなり視界が開けて、もうそこはニノ岳山頂。西方には有明海が広がり、雲仙普賢岳は春霞のか



「ホットひと息えびね坂」で一息つきます



木の階段が続きます

なたにかすんで見える。宇土半島や阿蘇連山なども霞の中でした。南には金峰山がほこら越しにそびえたつ。しかしながら、山頂は、もうスズメバチがぶんぶんいっておりまして、せっかくの眺望も堪能できず、お茶も飲まずにとっとと三ノ岳へ。



下界はかすんでいます



ニノ岳の山頂から金峰山を望む



ニノ岳北斜面から望む三ノ岳

三ノ岳へ下る丸太の階段は去年の豪雨のせいか、いたるところ崩れており、滑らないよう気をつける。そのまま北へ下って林道へ出るが、少し行くと、三ノ岳にいたる山道に入ります。相変わらず眺望のない道をせつせと登り、丸太の階段から岩の間をぬっていくようになったら、はい三ノ岳山頂です。ここにもスズメバチがぶんぶんいっており、落ち着けない。ニノ岳よりも眺望は悪い。

このまま来た道に戻る予定だったけど、スズメバチが怖くなり、どうしようと地図を見て、三ノ岳観音まで下り、林道を伝ってニノ岳、三ノ岳を巻いて戻る道をとることにした。

戻り道は何の変哲もない林道で、退屈な道。藤が咲いてたり、黒豆が咲いてたり。鳥の鳴き声は残念ながら私は判別できない。

金峰山は、いつも人であふれていますが、今回のニノ岳、三ノ岳では、山道に入ってから、ひとりも会わないという寂しいというか、深山に分け入る気分というか。

時間もそんなにかからずに、山登り気分浸

れる。

安・近・短の三拍子揃ったゴールデンウィークの穴場でした。

なお、道のりのそこここに立ててある道標は「クロスカントリーコース」と書かれており、これは、我が導師O先生のグループによって正月に行われる、ニノ岳三ノ岳をめぐるクレージークロカンレースのなごりでありましょう。



三ノ岳観音舎で一息



山行（参考）データ

7：30自宅 —— 8：00野出車庫 ——
8：10出発 —— 8：50ニノ岳山頂 ——
9：00出発 —— 9：40三ノ岳 ——
11：00野出車庫着 —— 11：25自宅

(古川猛士)

新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 いりさ こうすけ 入佐 弘介
 診療所名 いりさ歯科医院
 (診療所) 〒861-8064 熊本市八景水谷 1-24-24
 電 話/096-223-7360 FAX/096-223-7360
 生年月日 昭和47年 3 月10日
 経 歴 平成 2 年 3 月31日 宮崎県立小林高等学校卒業
 平成 3 年 4 月 1 日 長崎大学歯学部入学
 平成 9 年 3 月31日 同 卒業
 平成 9 年 4 月 1 日 伊東歯科医院入社
 平成17年 3 月31日 同 退社
 平成17年 4 月16日 エクセル歯科医院入社
 平成18年 2 月10日 同 退社
 平成18年 2 月16日 ホワイト歯科医院入社



氏 名 ほり おしんいちろう 堀尾 慎一郎
 診療所名 熊本託麻台歯科診療所
 (診療所) 〒860-0834 熊本市尾ノ上 1-10-4
 電 話/096-381-5118 FAX/096-381-5118
 生年月日 昭和41年10月16日
 経 歴 平成 2 年 4 月 松本歯科大学入学
 平成 8 年 3 月 同上 卒業
 平成 9 年 3 月 今里歯科医院勤務
 平成 9 年 7 月 同上 退職
 平成 9 年 9 月 立石歯科医院勤務
 平成11年 6 月 同上 退職
 平成11年 6 月 加藤歯科医院勤務
 平成13年 2 月 同上 退職
 平成13年 6 月 筑紫口歯科クリニック開業
 平成15年 6 月 同上 閉院
 平成15年 6 月 (医)堀尾会勤務 現在に至る



スポーツの広場



あつまるデンタル・ゴルフ会

H19年 1月14日

		O	I	G	H	N
1位	宮崎 幸一	44	42	86	19	67
2位	山室 紀雄	44	49	93	20	73
3位	谷川 貞男	44	46	90	17	73
4位	河野 敬明	49	51	100	24	76
5位	本田 治夫	52	52	104	28	76
B・B	森 一	63	48	111	28	83

12名

3月11日

		O	I	G	H	N
1位	坂井 満	47	41	88	16	72
2位	河野 敬明	48	48	96	23	73
3位	本田 治夫	50	50	100	25	75
4位	古賀 明	42	49	91	13	78
5位	奈良 健一	46	45	91	13	78
B・B	木村 洋	50	55	105	22	83

14名

2月18日

		O	I	G	H	N
1位	古賀 明	41	44	85	17	68
2位	北川 隆之	39	42	81	13	68
3位	河野 敬明	44	51	95	24	71
4位	森 一	50	54	104	28	76
5位	本田 治夫	51	53	104	28	76
B・B	宮崎 幸一	49	52	101	14	87

16名

熊本デンタル会

2月25日 空港カントリー

		O	I	G	H	N
優勝	渡辺 博	40	40	80	11.1	68.9
2位	松本 光示	39	41	80	8.4	71.6
3位	稲葉 逸郎	42	38	80	7.1	72.9
4位	甲斐 利博	46	41	87	13.2	73.8
5位	中根 俊吾	50	48	98	23.8	74.2
B・B	本田 亘	47	50	97	16.5	80.5

11名

3月25日 空港カントリー

		O	I	G	H	N
優勝	田中 弥信	49	46	95	30	65
2位	工藤 隆弘	41	40	81	13.9	67.1
3位	松本 光示	36	40	76	8.4	67.6
4位	元島 博信	43	41	84	15.9	68.1
5位	三笠 司	40	44	84	15.1	68.9
6位	井口 泰治	45	51	96	25.2	70.8
7位	稲葉 逸郎	41	38	79	7.1	71.9
B・B	西 正浩	56	64	120	36	84

21名



会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
2 月 19 日	・会務、会計、庶務報告 ・代議員会、総会について ・いきいき未来のつどい協賛金について
3 月 23 日	・委員会報告 ・会務、会計、庶務報告 ・公益法人立入調査結果報告 ・障害者歯科への取組み ・県議、市議の出陣式出席体制 ・介護予防事業への対応強化 ・熊本市乳幼児医療費助成とひとり親家庭医療費助成

公 衆 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
2 月 22 日	・上通りイベント打ち合せ ・パールラインマラソン出務予定 ・集団健診出務打ち合せ
3 月 15 日	・上通りイベント アンケート内容打ち合せ ・パールラインマラソン打ち合せ
4 月 19 日	・上通りイベント 役割分担

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
3 月 9 日	・9～12月の集計 ・ピアパーティーの場所について
4 月 6 日	・代診制度 ・ピアパーティー会場ホテルニューオータニに決定
5 月 11 日	・代診制度 ・ピアパーティー打ち合せ

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
2 月 27 日	・第2回熊本市エイズ総合対策推進会議報告 ・学校歯科医変更
3 月 31 日	・衛生士会との連絡会 ・来年度歯磨き巡回指導予定について ・ひまわりカードの変更、加算の報告
4 月 20 日	・衛生士会との連絡会 ・植衛生士さん「厚生労働大臣表賞」の報告会 ・ビデオカセット等の貸し出しについて ・19年度歯磨き巡回指導の予定 ・歯科健診結果のお知らせ ・委員会内のメール連絡

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
3月8日	・薬剂情報ソフト・使用マニュアル作製
4月12日	・AEDについて
5月10日	・介護予防（口腔機能アセスメント表）について
	・薬情ソフト書き込み作業
	・学術講演会打ち合せ
	・熊本市歯科医師会ホームページの会員医院情報の内容確認
	・熊本市歯科医師会設備の動作確認
	・平成19年熊本市学術講演会（矯正専門医よりの助言）について
	・5/19(土)薬情君説明会について打ち合せ

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
2月16日	・中岳136号 レイアウト、編集
2月26日	・ 第1回校正
3月9日	・かわら版3月号 編集
3月27日	・中岳136号 第2回校正
4月25日	・かわら版4月号 編集
	・中岳136号 反省
	・対外広報誌の企画について
	・かわら版5月号 編集
	・対外広報パンフレット企画
	・中岳136号 スキャンスナップでパソコンへ取り込み

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
2月14日	・全体会議として ・紹介症例の呈示・総合討論
	・特別講演として「これからの医療提供体制について」厚労省厚生局長 松本義幸先生より講演があった。
2月22日	・カレンダー作製について
	各行事の日程の確認
	米田印刷米田様との打ち合せ
3月15日	・医療相談 4件
	・4月以降の行事 ・スタッフセミナーの日程
	・子連れの患者さんへの対応
	・対外誌を発行する予定
	・公益法人として対外的な仕事を増やす。
	・会費について
	・三菌会の日程
	・医療相談
3月29日	・相談事例の検討、対応
4月21日	・石井みどりの出席依頼 100名程度
	・スタッフ研修
	・三菌会 8月初旬
	・青色申告会
	・医療管理学会への対応

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
2 月28日	・ 会員への説明会 ・ 保険医としての心構えについて ・ 適正な保険請求について ・ 歯周治療のガイドラインについて ・ 薬情君のインストールについて ・ 改善指摘事項の検討 ・ 5 月19日薬情用ソフト説明会について ・ 医療安全情報について ・ レセプトオンライン化について
3 月16日	
4 月12日	

総会資料

1. 会務報告

平成18年8月～平成19年1月末現在

理事会 月1回開催 (H18.8/21、9/22、10/20、11/25、12/19、H19.1/24)
会務報告
総務報告、各委員会事業報告及び計画、臨時委員会事業報告及び計画
庶務報告
会計現況報告
協議
11/25、26移動理事会「玉名」、12/27臨時理事会

常務理事会 月1回開催 (H18.8/18、9/15、10/7、11/16、12/12、H19.1/19)
会務全般にわたり協議

総務

- ・支部長会 (8/10、12/7)
北部1忘年会 (12/4)、北部3忘年会・支部会 (12/8)
東部3支部新年会 (1/6)、南部新年会 (1/18)、中央支部新年会 (1/31)
- ・市歯監査 (8/10)
- ・市歯代議員会 (9/4)
- ・市歯臨時総会 (9/13)
- ・医道委員会忘年会 (12/28)

公益

- ・熊本市長・熊本市健康福祉局・市議との協働事業に関する打合せ (8/2、8/11、11/16、12/7)
- ・九州八市歯科医師会第6回専務理事会議 [於:宮崎] (8/5)
第25回九州八市歯科医師会役員連絡協議会 [於:宮崎]
懇親会 (10/27)、協議会 (10/28)
第59回九州歯科医学大会 (10/28、10/29)
- ・ふる里龍田の夏まつりに於ける歯科相談および反省会 (8/6、8/7)
- ・平成18年度熊本市歯科保健推進協議会 (8/16)
- ・社団法人熊本県歯科衛生士会創立40周年・社団設立15周年記念式典・祝賀会 (8/20)
- ・熊本市地域支援事業・介護予防事業委託事業者公募説明会 (8/23)
通所型介護予防事業推進検討委員会 (9/6、10/30)
菊鹿合同介護予防学術講演会 (9/30)
熊本市介護予防事業 (口腔機能向上プログラム) 説明会開催「市会議室」 (11/29)
- ・日曜祝日昼間診療実績に関する県歯会口腔保健センターとの検討会 (8/25)
- ・平成18年度熊本市市民健康フェスティバル
運営委員会 (9/5)、開会式 (9/23)、閉会式・反省会 (9/24)
- ・シティエフエム出演 (9/6、9/13、11/1、11/8)
- ・第30回健康教室講座 開講式 (9/7)、講演 (9/20)、閉講式 (10/26)

- ・熊本市立弓削小学校研究発表事前打合せ（9/22）、発表会（10/31）
- ・平成18年度医療制度改革関連法案関連の健診保健指導事業説明会（9/25）
- ・国立病院機構熊本医療センター附属看護学校創立60周年記念式典・祝賀会（9/30）
- ・平成18年度熊本市感染症診断技術研修会（10/5）
- ・2006年第4回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・熊本医療委員会（10/7）、夏期ナショナルゲーム（11/3～5）、実行委員会・懇親会（12/9）
- ・熊本市入院入所者歯科診療運営委員会（10/12）
- ・熊本市保健衛生審議会（10/18）
- ・平成18年度「いきいき未来のつどい」実行委員会（10/19、1/19）
- ・熊本市社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（11/7、1/16）
- ・西部方面隊創隊51周年記念式典・観閲行進（11/26）
- ・平成18年度熊本市地域包括支援センター運営協議会（11/28）
- ・平成18年度母子保健研修会講演（11/29）
- ・熊本市救急災害医療協議会（12/1）
- ・熊本市中央保健福祉センター「お口の健康づくりセミナー」講演（12/4）
- ・公益法人制度改革に関する説明会〔県庁〕（12/7）
- ・国立病院機構熊本医療センターとの協議会（12/20）
- ・年始挨拶廻り（1/4）
- ・訪問看護検討委員会（1/10）
- ・熊本市保健医療専門団体連合会理事会（1/15）
- ・平成18年度健康危機管理研修会（1/16）
- ・健康くまもと21推進市民会議代表世話人会（1/30）

医政関係

- ・石井みどりと語る会（8/29）
- ・幸山政史後援会総決起大会〔市長選〕（10/20）、推薦状渡し（10/23）、出陣式（11/5）
- ・さとう達三総決起大会〔市長選〕（10/21）、推薦状渡し（10/23）、出陣式（11/5）
- ・市長選推薦者選挙事務所表敬訪問（11/10）
- ・藤川たかお後援会事務所開所式（1/24）
- ・市議会議員島田幾雄後援会「幾友会新年のつどい」（1/25）

厚生委員会

- 9/5、6、7、8 平成18年度健康診断「県歯会館」 会員 163名、家族・従業員 646名
- 10/12 第10回熊本市入院入所者歯科診療運営委員会
- 12/15 ホテル日航熊本にて試食会
- 1/27 平成19年熊本市歯科医師会新年懇親パーティー「ホテル日航熊本」130名

公衆衛生委員会

- 在宅サービス手引書編集委員会（8/1、8/30、9/29、10/31、11/21、12/8、12/21、1/26）
- 平成18年度「8020表彰」及び「歯たちの健診」打合せ（8/9、10/18）
- 子ども文化会館における歯科相談（8/20、10/22、12/24）

市立幼稚園フッ素塗布（9/7、8、12、14、15、19、22、12/4、5、7、8、12、14、15）
9/20 第30回健康教室講座講演
9/23、24 熊本市民健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館パレア・鶴屋ホール」
9/24 フェスティバル反省会
10/28 KKT『子育て応援団すこやか2007』実行委員会
歯たちの健診事業「学園祭での無料健診」学園大学（11/3）、熊本大学（11/4）

学術委員会

熊本市歯科医師会、熊本市医師会学術アーベント
日時：平成18年9月20日（水）午後7：00「熊本地域医療センター」
演題：「歯科における妊婦の取り扱いについて」
9/9 各郡市歯科医師会学術担当者連絡協議会
11/26 平成18年度日歯生涯研修セミナー会員発表
11/29 熊本市介護予防事業（口腔機能向上プログラム）説明会
12/7 熊本市長表敬訪問
・介護予防アセスメントオリジナル作成
・中岳スタディー原稿調整
・臨床Q&A作成（毎月）
・本会ホームページ更新（毎月）

学校歯科委員会

8/20 第47回熊本県学校保健研究協議大会「於：水俣」
8/22 熊本市エイズ総合対策推進会議
9/9～10 第28回学校歯科保健研修会「九州ブロック」
9/23、24 熊本市民健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館パレア・鶴屋ホール」
10/6、1/25 平成18年度熊本市学校保健会理事会
平成18年度歯磨き巡回指導（後期）「歯と口の健康教室」（10/31、11/15、22）
10/31 熊本市立弓削小学校研究発表会
11/11、1/13 熊本県学校歯科医研修会「県歯」
11/29 熊本市介護予防事業（口腔機能向上プログラム）説明会
12/7 熊本市長表敬訪問
学校歯科医変更

広報委員会

12/7 熊本市長表敬訪問
中岳134、135号発行（9月、12月）
かわら版各月発行
本会主催事業、取材
写真名簿追加分作成（平成15年10月～平成18年9月）
妊婦歯科健診ポスター作成

医療管理委員会

- 9/11 国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会「くまもと県民交流館パレア」
9/23、24 熊本市民健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館パレア・鶴屋ホール」
11/9 救急蘇生法講習会「国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター」
11/19 第8回日本歯科医療管理学会九州支部総会・学術大会
12/20 国立病院機構熊本医療センターとの協議会「国立病院機構熊本医療センター」
放射線漏洩測定器の各支部貸出し管理
平成19年度税務カレンダー編集・作成
院内掲示ポスター更新・作成
◇医療相談小委員会〔医療相談受付〕H18.8月～H19.1月 相談件数 45件

社会保険委員会

- 8/18 疑義解決資料の検討
老人医療受給者証の負担割合について
領収書発行に関して
9/14 熊本県版交付文書作成ソフトの実習
10月からの領収書発行に関する注意点の確認
10/11 九州各県社保担当学会議の報告
11/15 新・診療報酬提供文書について
個別指導の状況について（改善指摘事項）
12/13 新・交付文書（様式1・2）の確認
11月分指導の改善指摘事項について
1/17 情報提供文書の必要記載事項の確認及びカルテ記載事項について
12月カルテ相談の計画

熊本市歯科保健推進事業部会

企業健診推進部会

H18.8月～H19.1月	熊本市職員、家族	健診者数	11名
H18.8月～H19.1月	熊本市妊婦歯科健診事業	健診者数	219名
H18.9/14	ヤクルト本社熊本工場	健診者数	29名

介護認定審査会

- 岩村泰行（8/7、21、9/4、10/2、16、11/6、20、12/4、18、1/15）
長美智恵（8/2、16、9/6、20、10/4、18、11/1、15、12/6、20、1/17）
藏本和咲（8/9、23、9/13、27、10/13、25、11/13、22、12/13、27、1/10、24）
田中俊憲（8/2、16、9/6、20、10/4、18、11/1、15、12/6、20、1/17）

会務総合検討臨時委員会

- 共済制度見直し検討臨時委員会（8/2、8/16）
市歯会対外広報検討委員会（10/10）

医道委員会

- 入会申し込み時、月1回開催
入会者 1名
栗原健一（11/22）

2. 庶務報告

平成18年8月～平成19年1月末現在

1. 現在会員数

348名

一般会員	287名
親子会員	8名
終身会員	42名
特別勤務会員	0名
特別会員	11名
勤務会員	0名

2. 入会者

H18.11.28 栗原 健一

熊本市新町4-4-1

西部

3. 物故者

H19.1.30 栗原 幸紘

熊本市新町4-4-1

西部

4. 退会者

なし

5. 代表歯科医変更

なし

第3号議案

平成19年度熊本市歯科医師会事業計画

総 務

1. 医療・保健・福祉制度への対応
2. 関係諸機関との連携
3. 歯科保健施策の推進
4. 8020達成事業の推進

厚生委員会

1. 第31回熊本市歯科医師会ビアパーティー親睦大会の開催
2. 平成20年熊本市歯科医師会新年懇親パーティー開催
3. 入院入所者歯科診療の集計
4. 会員、家族、スタッフの健康診断
5. 代診派遣制度の検討

公衆衛生委員会

1. 歯の衛生週間行事
 - ①歯の祭典〔上通りイベント〕 6/30(日)
 - ②全会員による歯科無料健診 6/4～10
 - ③子ども文化会館での無料健診 6/2(土) (よい歯のピエロショー)
2. 三歯会出務
3. 熊本市立幼稚園フッ素塗布 (年2回)
4. 熊本市民健康フェスティバル出務 9/29・30(同時に8020表彰)
5. 健康教室講座講演出務
6. 全会員による「歯たちの健診」(各診療所)
7. 天草パールラインマラソン出務
8. 熊本市子ども文化会館での無料健診 (年4回程度)
9. 大学学園祭での無料歯科健診
10. 「Yes! RKK Long Life 2007」出務
11. KKT「子育て応援団すこやか2008」出務

学術委員会

1. 学術講演会
2. Q&A作成
3. 中岳原稿調整
4. 本会ホームページ維持関連
5. 学術研修会

学校歯科委員会

1. 熊本市学校保健会歯科部としての活動並びに協力参加
2. 熊本市立保育所、幼稚園、小学校、中学校の園医、校医の推薦
3. 熊本県学校保健研究協議大会への参加
4. 歯の衛生週間の期間、ビデオ・スライドの貸出
5. 熊本市立幼稚園及び小学校での歯磨き巡回指導
6. 熊本小児保健研究会、熊本市エイズ総合対策推進会議出務
7. 学校歯科医の研修

広報委員会

1. 「中岳」年4回発行（6，9，12，3月）
2. 「かわら版」各月発行（年12回）
3. 市歯会主催各行事取材

医療管理委員会

1. スタッフ研修セミナー
 - ・スタッフレベルアップセミナー 6/9(土)（講義・実習）
 - ・スタッフ対象講演会
2. 三歯会座談会〔7月〕
3. 救急蘇生法講習会〔11月〕
（国立病院機構熊本医療センターと共催）
4. カレンダーの作成
5. 労務・歯科医療管理経営研修会
6. 医療相談
7. その他
 - ①熊本市市役所職員、家族歯科健診への対応
 - ②青色申告会への対応
 - ③院内掲示ポスター類の更新及び新製
 - ④国立病院機構熊本医療センター開放型病院への対応及び医療連携の検討
〔協議会（7月、1月）・連絡会（9月、2月）〕
 - ⑤放射線漏洩測定器の貸出、管理〔6月より〕
 - ⑥医療管理学会対応

社会保険委員会

1. 県社保委員会及び理事との緊密な連絡と協議
2. 社保関連諸会議、研修会への出務と協力
3. 保険診療、請求事務に対する研究と対応
4. 診療報酬改正に対する素速い対応、説明会の開催
5. 保険診療に関する説明会、講習会の開催
6. 被保険者の苦情、質問等への対応
7. 介護保険に関する指導と対応
8. 会員へのカルテ記載等の個別相談への出務
9. レセプト返戻等に対するの質疑応答
10. 各支部会におけるの社保説明への対応と出務
11. 社保勉強会の開催

第4号議案

平成19年度熊本市歯科医師会一般会計予算（案）

款	項	目	科	目	予算額	前年度予算額	増	減	備	考
I 事業活動収支の部										
i. 事業活動収入										
1			基本財産運用収入		604,500	0	604,500			
	1		預金利子		589,500		589,500			
	2		会議室料		15,000		15,000			
2			入会金収入		8,000,000	8,000,000				
3			会費収入		27,095,000	32,059,000		4,964,000		
	1		均等割		16,594,000	21,558,000		4,964,000		月4,500円
	2		保険診療負担金		10,500,000	10,500,000				保険診療収入の1,000分の1
	3		過年度会費		1,000	1,000				前年度未納者
4			事業収入		1,027,000	631,000	396,000			
	1		健診料収入		1,007,000	611,000	396,000			熊本市職員健診、フック療 布科、妊婦歯科健診
	2		入院入所者事業収入		20,000	20,000				機械使用料
5			補助金等収入		3,800,000	3,500,000	300,000			
	1		県歯より事業助成金		3,300,000	3,000,000	300,000			会員1人あたり10,000円位
	2		補助金収入		500,000	500,000				
6			雑収入		15,500	7,500	8,000			
	1		預金利子		500	500				
	2		雑入		15,000	7,000	8,000			依頼費、入歯手帳代、企 業健診手数料
事業活動収入合計（A）					40,542,000	44,197,500		3,655,500		
ii. 事業活動支出										
1			事業費支出		24,534,000	23,946,000	588,000			
	1		委員会支出		13,809,000	13,719,000	90,000			
		1	学術委員会費		1,300,000	1,600,000		300,000		
		2	公衆衛生委員会費		1,910,000	1,790,000	120,000			
		3	社会保険委員会費		1,100,000	1,200,000		100,000		
		4	医療管理委員会費		1,680,000	1,680,000				
		5	広報委員会費		1,918,000	1,838,000	80,000			
		6	厚生委員会費		3,305,000	3,095,000	210,000			
		7	学校歯科委員会費		1,696,000	1,616,000	80,000			
		8	各種委員会費		900,000	900,000				医道委員会旅費、臨時委員会
	2		医政費		2,280,000	2,280,000				
	3		衛生週間事業費		3,500,000	3,500,000				
	4		会議費		2,770,000	2,650,000	120,000			理事会代議員会対外会議費他
	5		支部分担金		1,047,000	1,029,000	18,000			会員1人3,000円
	6		健診事業支出		750,000	390,000	360,000			
		1	健診料		750,000	390,000	360,000			熊本市職員健診、妊婦歯科健診
	7		入院入所者事業支出		78,000	78,000				
		1	薬品費		8,000	8,000				
		2	補修管理費		70,000	70,000				
	8		補助金等支出		300,000	300,000				
		1	県歯科衛生士会補助金		100,000	100,000				
		2	県歯熊本市支部補助金		100,000	100,000				
		3	市歯科技工士会補助金		100,000	100,000				

款	項	目	科	目	予算額	前年度予算額	増	減	備	考
2			管理費支出		25,371,200	25,934,936		563,736		
	1		渉外費		1,050,000	1,050,000				香典代 御樽代等
	2		役員報酬		5,443,200	5,616,936		173,736		役員15名分
	3		職員給料		6,000,000	6,000,000				職員3名分
	4		職員諸手当		2,670,000	2,670,000				職員2名分
	5		厚生費		1,943,000	1,793,000	150,000			事業主保険料等
	6		旅費		1,530,000	1,380,000	150,000			交通費
	7		需要費		2,680,000	2,400,000	280,000			郵送費、TEL FAX料、 コピー料他
	8		事務所費		1,560,000	1,560,000				水道光熱費 共益費等
	9		備品費		150,000	150,000				
	10		委託費		900,000	900,000				税理士顧問料 コンピュー タ管理費
	11		使用料及び賃借料		200,000	600,000		400,000		コンピュータリース料
	12		租税公課		30,000	100,000		70,000		法人税 消費税
	13		雑費		1,215,000	1,715,000		500,000		封筒印刷 議事録作成費 他
3			繰入金支出		2,900,000	6,900,000		4,000,000		
	1		退職積立金支出		900,000	900,000				
		1	役員退職金支出		540,000	540,000				
		2	職員退職金支出		360,000	360,000				
	2		基本財産繰入金		2,000,000	6,000,000		4,000,000		
事業活動支出合計 (B)					52,805,200	56,780,936		3,975,736		
事業活動収支差額 (C) A-B					-12,263,200	-12,583,436	320,236			
II 投資活動収支の部										
i. 投資活動収入										
	1		固定資産売却収入							
投資活動収入合計 (D)					0	0				
ii. 投資活動支出										
	1		固定資産取得支出							
投資活動支出合計 (E)					0	0				
投資活動収支差額 (F) D-E					0	0				
III 財務活動収支の部										
i. 財務活動収入										
	1		借入金		1,000	1,000				
財務活動収入合計 (G)					1,000	1,000				
ii. 財務活動支出										
	1		借入金返済		1,000	1,000				
財務活動支出合計 (H)					1,000	1,000				
財務活動収支差額 (I) G-H					0	0				
IV 予備費支出 (J)					2,736,800	2,416,564	320,236			
当期収支差額 (K) C+F+I-J					-15,000,000	-15,000,000				
前期繰越収支差額 (L)					15,000,000	15,000,000				
次期繰越収支差額 (M) K+L					0	0				

第5号議案

平成19年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算（案）

収入の部

款	項	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
1		雑収入	30,000	30,000			ガイドブック印税 その他
2		前年度繰越金	100,000	150,000		50,000	
合 計			130,000	180,000		50,000	

支出の部

款	項	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
1		寄附金	10,000	10,000			
2		利益金	10,000	10,000			
3		雑費	100,000	150,000		50,000	
4		租税公課	10,000	10,000			消費税
合 計			130,000	180,000		50,000	

第6号議案

平成19年度熊本市歯科医師共済会計予算（案）

収入の部

款	項	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
1		互助費	9,050,000	3,900,000	5,150,000		
	1	初回金	400,000	400,000			1人50,000円
	2	負担金	8,650,000	3,500,000	5,150,000		月2,500円
2		雑収入	50,000	100,000		50,000	
3		前年度繰越金	10,000,000	10,000,000			
合 計			19,100,000	14,000,000	5,100,000		

支出の部

款	項	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
1		給付	7,100,000	5,100,000	2,000,000		
	1	傷病見舞金	700,000	700,000			1人20,000円
	2	弔慰金	4,000,000	3,000,000	1,000,000		会員、家族
	3	災害・見舞給付	1,200,000	1,200,000			
	4	生前給付	1,200,000	200,000	1,000,000		6名分
2		供花費	330,000	315,000	15,000		生花代
3		事務費	20,000	20,000			
	1	通信費	10,000	10,000			傷病見舞金送料
	2	雑費	10,000	10,000			
4		予備費	11,650,000	8,565,000	3,085,000		
合 計			19,100,000	14,000,000	5,100,000		

第7号議案

平成19年度熊本市歯科医師会役職員退職積立金会計予算（案）

（役員）

収入の部

款	項	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
1		役員退職積立金	540,000	540,000			
2		前年度繰越金	585,000	45,000	540,000		
合 計			1,125,000	585,000	540,000		

支出の部

款	項	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
1		役員退職金	0	0			
2		次期繰越金	1,125,000	585,000	540,000		
合 計			1,125,000	585,000	540,000		

（職員）

収入の部

款	項	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
1		職員退職積立金	360,000	360,000			2名分
2		預金利子	2,000	2,000			
3		前年度繰越金	5,000,000	5,289,141		289,141	
合 計			5,362,000	5,651,141		289,141	

支出の部

款	項	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
1		職員退職金	0	0			
2		次期繰越金	5,362,000	5,651,141		289,141	
合 計			5,362,000	5,651,141		289,141	

第8号議案

平成19年度 熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法について

科 目		年賦課額・賦課率	賦課方法	徴 収 方 法
会 費	均等割 (一 般)	54,000	12回	毎 月 (各4,500円)
	(終 身)	4,000	4 回	4, 5, 6, 7 月 (各1,000円)
	(親 子)	18,000	12回	毎 月 (各1,500円)
	(特別勤務)	18,000	12回	毎 月 (各1,500円)
	(特 別)	70,000	1 回	4 月、入会時
	(勤 務)	12,000	1 回	4 月 ※入会が1年に満たない場合その月を含む年度の残りの月数×1,000円
	矯正単科会員、自費診療のみの一般会員	82,000	10回	4～1月 (各8,200円)
	所得割	1/1000	12回	毎 月 (社保、国保診療報酬) ※新入会員は全体平均額
入 会 金	一般会員	1,500,000	1 回	入 会 時
			分割	初回金300,000円 翌月より100,000円 (12回) 分割
	親子会員	1,000,000	1 回	入 会 時
			分割	初回金40,000円 翌月より30,000円 (32回) 分割
	特別勤務会員	1,500,000	1 回	入 会 時
			分割	初回金300,000円 翌月より100,000円 (12回) 分割
共 済 会 費	特別会員	1,500,000	1 回	入 会 時
	初回金	50,000	1 回	入 会 時
	負担金 (一般、親子、特別勤務)	30,000	12回	毎 月 (各2,500円)
	(終 身)	2,000	死亡された月	死亡された都度 (4人を限度)

編集後記

風呂あがりにパンツ一丁でナイター観ながらビールをプハッが最高の季節になってきましたが、今年はナイターがあまり放送されませんね。あいかわらず分厚いアナログTVでみている我が家の上空には、ボンズや松井のホームランがデジタル信号に乗って飛び交っているのでしょうか？

しかたなしにくだらないバラエティーみながらパンツ一丁でビール片手にヘラヘラ笑っていると、年頃を迎えた娘に「おとうさま もうすこし身だしなみに注意なさってね」とツッコまれるしまつ。

「おまえは西之園萌絵か!!」

(K. M)

熊本市歯科医師会会誌

第 137 号

発行日 平成19年6月15日発行
発行所 社団法人熊本市歯科医師会
熊本市坪井2丁目4番15号
<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>
[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)
TEL (343) 6669
FAX (344) 9778

発行
責任者 古賀 明

印刷所 コロニー印刷
熊本市二本木3丁目12-37
TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294